

## 令和4年度事業計画

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

昨年度、官民物流標準化懇談会の下、パレット標準化推進分科会が発足しました。あらためて、標準化の必要性を実感する1年となりました。このパレットの標準化は、協会が創立されて間もない50年前から活動が続いており、ISO規格との整合やJIS規格の制定がおこなわれてきました。そのような長い活動であるため、「パレットの標準化は既に終わっている」という声も聞かれますが、正確に言えば、標準化は規格の制定とその普及が含まれます。それ故に、今後のパレット標準化推進分会等の会議では、JIS規格のパレットやそれに準ずるパレットをどのように普及させるかが大きなテーマになっていきます。

さて、令和4年の年頭に、ロシアのウクライナ(再)侵攻をどれだけの国民が予測できていたのでしょうか。この出来事は、ここ数年、各方面で指摘されてる「不確実性が著しく高まっている世界」の実例になりました。そして、変動が前提である経済、避け難い自然災害のリスクの高まり等もあり、こうした世界の中で、国内の各事業者が「企業変革力」を問われる時代に移りつつあることはご承知の通りです。つまり感知(センシング)、捕捉(シージング)、変容(トランスフォーミング)が試される時であり、各事業者は「危機を敏感に感知し、適切なタイミングで組織を再編成して、新たな組織への変容を実現」を果たさなければなりません。

本年度は、会員各社がこのような状況において最適なパレット(サービス)を産業界に提供できるように、これまでも増して「協会のあるべき姿」を会員企業、関係協会と団体、関係官庁との連携等により、常に見据えながら着実に歩みを進めます。そして、次の事項を活動の主眼とします。

### <本年度活動の主眼>

物流分野の諸課題解決に向けた「簡素で滑らかな物流」、「担い手にやさしい物流」、「強くてしなやかな物流」等の実現に対応するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進  
労働安全衛生に資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

グローバルサプライチェーンの再構築等に備えたパレット及び関連物流機器・容器の利用促進と製造に関する啓発(一層の品質管理等)

サプライチェーンに内在する様々な社会の課題を解決するツール(電子タグ等)の実用化に資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

国内の自然災害等に対応するためのパレット及び関連物流機器・容器の有効活用

パレット及び関連物流機器・容器に関する調査、情報の収集、提供

パレット及び関連物流機器・容器に関する品質表示策(JPAマーク認証制度等)推進

パレット及び関連物流機器・容器の製造販売業・レンタル業に携わる人材育成  
パレット及び関連物流機器・容器に関する内外関係機関との交流及び協力  
パレット分野に関する規格・基準の作成及び確認  
新規会員勧誘活動及び IT 等の活用による地方会員の協会活動への参加促進  
その他、協会目的を達成するために必要な事業（関連出版物の発行等）の随時実施

そして、主眼に基づき次の通り計画（1. 国内活動 2. 国際活動）を策定し予算を計上する。

## <事業計画>

### 1. 国内活動

- 1) 部会活動と協会ホームページを活用した情報共有と意見交換により、環境変化（IoT、AI 等の技術革新や現在のパンデミックを経た様々な変化）への備えに万全を期する
- 2) 展示会の共催や協賛、出版物の発行・販売、労働安全衛生を考慮したパレットに関する活動支援等の幅広い活動によりパレットならびに業界全体の PR を図る
- 3) 協会ホームページのバナー広告活用や WEB 検索の対策等により、各社の PR を展開し、会員事業への寄与を継続する
- 4) 災害時のパレット及び関連物流機器・容器の有効活用を支援するため、危機管理体制を維持、自治体等との連携強化
- 5) JPA マーク認定制度を充実させ、品質や安心安全の PR の新たな体制構築を目指すと共に、会員の支出に見合った公平なしくみ作りを引続き検討する
- 6) 通常総会（令和 4 年）を開催する
- 7) 新規会員（正会員、賛助会員、維持会員）の勧誘活動の強化
- 8) アフターコロナを見据え、協会事業の更なる活性化計画を実行する。

### 2. 国際活動

- 1) APSF アジアパレットシステム連盟 2022 総会主催（開催予定）
- 2) アジアのパレットリターナブル化に向けた委員会の実施
- 3) 国際パレット会議（中国）
- 4) その他、当会の活動に関連する国際活動を適宜実施

以上